



2025年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

－目次－

1. 会社概要	P1-3
2. 決算概要	P4
3. 連結損益の状況	P5-7
4. 連結貸借対照表の状況	P8
5. 2025年3月期の業績予想・配当予想	P9

1. 会社概要

社名	株式会社ウッドワン
所在地	広島県廿日市市木材港南1-1
設立	1952年4月
資本金	73億2,497万円
従業員数	2,222名（連結）
※2024年3月31日現在	1,211名（単体）
営業拠点	東京・名古屋・大阪・福岡など全国45拠点
製造拠点	本社（廿日市）・豊橋・蒲郡

無垢商品に強みのある 木質総合建材メーカー

構造材
Structure Materials

階段
Stairs

手すり
steel flat bar

家具TVボード
Furniture TV board

建具
Doors

キッチン
MUKU Kitchen

床材
flooring

ウッドワン 国内製造拠点



本社 / 本社工場



豊橋工場



蒲郡工場

国内子会社



株式会社ベルキッチン



フォレストワン庄原工場（2024年4月11日 竣工）

(海外拠点)



フィリピン 工場

欧米等輸出＋イン
ドネシア国内販売

沃達王國際有限公司

ウッドワンインテグラインドネシア



インドネシア 工場

ジューケンサンギョウ(フィリス)
コーポレーション



ウッドワン
バイオマス発電所

内販(倉庫・
仕入れ)

《ジューケンニュージーランドリミテッド》

トライボード工場
ノースランド工場

JNL本社

外販(商社経由等)

ワイララバ工場



ニュージーランド トライボード 工場



ニュージーランド ノースランド工場



ニュージーランド ワイララバ 工場

一貫生産体制

原材料の
確保

一次加工
二次加工

最終製品
製造

販売

ニュージーランドで約40,000haの森林を経営
(苗木を植えることから)

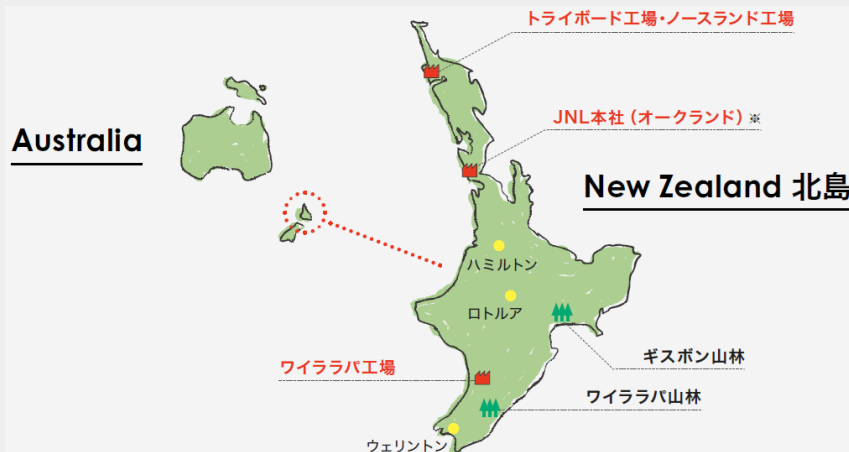
端材でバイオマス発電も

(持続可能な森林経営)

ニュージーランドの“ウッドワンの森”。

日本から東南へ約9,000km 離れた「ニュージーランド」にウッドワンが大切に育てている広大な森林があります。

その規模は約40,000ha にもおよび、「木のぬくもり」を製品としてご提供しつつ、地球環境を守る経営を行っています。



GHG排出量	単位	2021年度 連結	2022年度 連結
CO2吸収量・固定量			
CO2吸収量 ※1	t-CO2	700,000	699,000
CO2固定量 ※2	t-CO2	145,000	138,000
排出量			
Scope 1(連結)	t-CO2	5,129	5,337
Scope 2(連結)	t-CO2	21,650	16,847
合計(Scope1+Scope2)	t-CO2	26,779	22,184

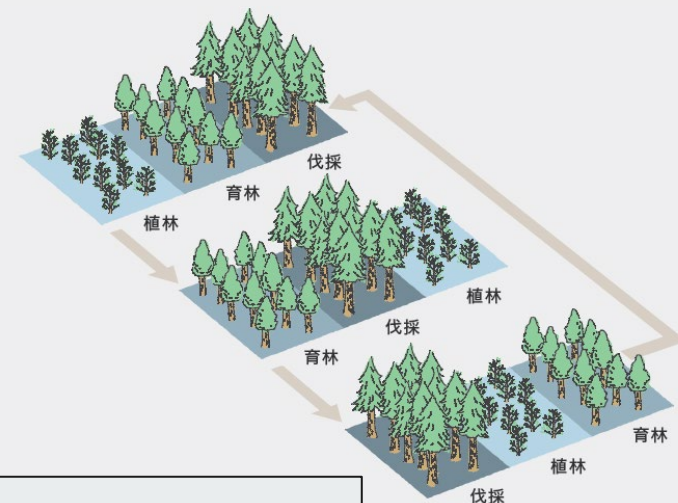
※1 CO₂吸収量 = 植林面積 × 年間平均生長量 × (1 - 生材含水率) × 炭素含有率 × CO₂換算係数

※2 CO₂固定量 = 植林面積 × 年間平均生長量 × ラジアータパイン材密度 × 炭素含有率 × CO₂換算係数

30年で次の世代へ。

ウッドワンで植林しているニュージーパイン®は、約30年で樹高40mほどに成長して伐採適齢期を迎えます。

そこでウッドワンでは、1年生から30年生までに分けた区画ごとに育て、毎年一定量の木材が収穫できるように森林を管理・保全しています。



2023年11月10日に発行したサステナビリティレポートから抜粋

2. 決算概要



前期比 △1.9%



前年同期
営業損失 2.7億円



前年同期
経常損失 3.2億円



前年同期
四半期純損失 2.1億円

(当期の経営環境)

住宅価格の高騰から、当社主力販売市場である持家(注文住宅)+分譲戸建は前年から9.8%減少。
昨年から続く円安NZD高がさらに進行。

【新設住宅着工戸数(持家+分譲戸建)推移】

(数量単位:千戸)

	持家+分譲戸建			持家		分譲戸建	
	戸数	前年比	増減率	戸数	前年比	戸数	前年比
2023年4~6月	93	91.0%	△ 9.0%	58	88.1%	36	96.0%
2023年7~9月	95	91.1%	△ 8.9%	61	91.4%	34	90.8%
2023年10~12月	88	87.6%	△ 12.4%	53	83.8%	35	94.2%
2024年1~3月	77	90.2%	△ 9.8%	48	91.0%	30	89.0%
2024年4~6月	85	91.1%	△ 8.9%	54	94.0%	31	86.3%

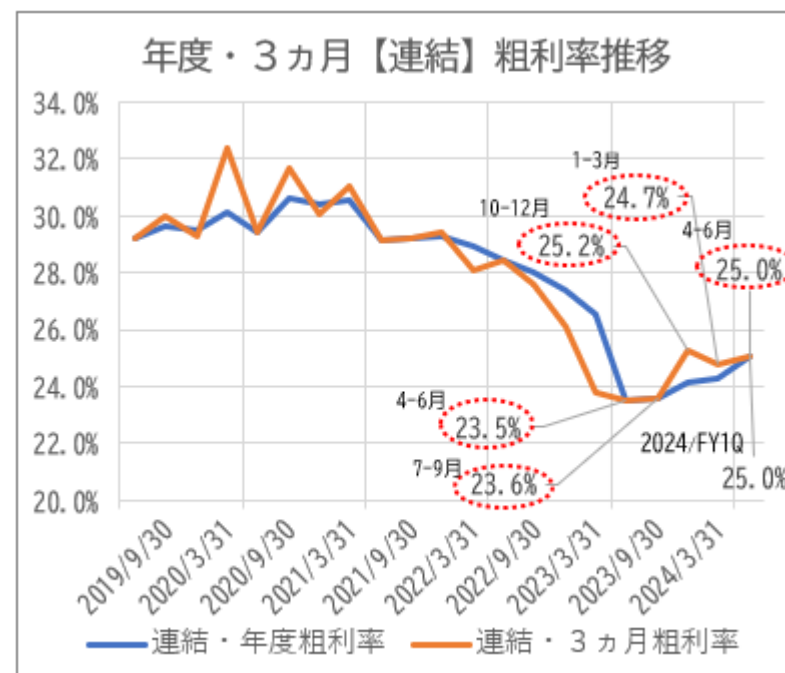


3. 連結損益の状況

- 国内外の住宅需要の低下による販売数量の減少により前年同期比で売上高が減少し、生産数量の減少により生産性の低下や主に円安によるコストアップがあったものの、前年度のギスボン工場閉鎖の効果もあり、前年同期に比べ売上総利益、営業利益、経常利益、四半期純利益とも増加。

(単位：百万円)

	2023年 6月期	2024年 6月期	前期比 増減
売上高	16,205	15,890	△314
売上総利益	3,809	3,976	+166
売上総利益率 (粗利率)	23.5%	25.0%	+1.5pt
販売管理費	4,081	4,114	+32
販管費比率	25.2%	25.9%	+0.7pt
営業利益	△272	△138	+133
経常利益	△329	412	+741
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△211	86	+298



【粗利率】

連結・3ヵ月粗利率は前年度に入ってから徐々に改善。

■前年度

4-6月23.5% (為替除き 23.8%)、7-9月23.6% (為替除き 24.5%)
10-12月25.2% (為替除き 25.7%)、1-3月 24.7% (為替除き 25.5%)

■今年度

4-6月25.0% (為替除き 25.5%)

【経常利益】

国内グループ子会社フォレストワンの庄原新工場への設備投資等による補助金収入として330百万円、為替相場の変動による為替差益319百万円が含まれています。

(セグメント情報)

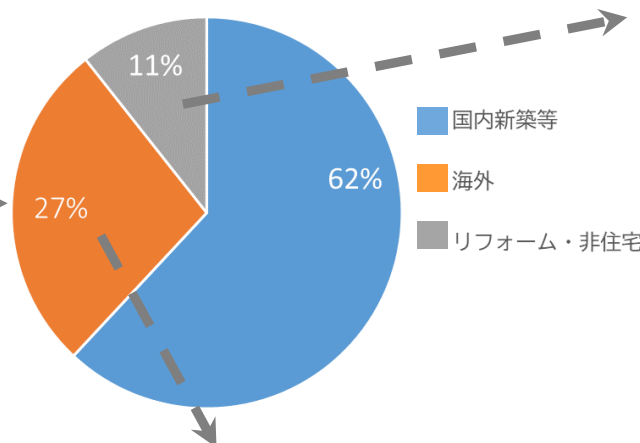
- 住宅建材設備事業において、海外部門はニュージーランド子会社における原木販売数、木製品の販売・生産数が減少し、生産性が低下したものの、前年度のギスボン工場閉鎖の効果もあり前年同期に比べ改善。インドネシア子会社では、主に欧米市場への輸出が大きく回復し、売上高、利益ともに好調に推移。
- 発電事業は、バイオマス燃料需要から依然、燃料代が高止まりしていることや、太陽光発電の急増に伴う電力需給バランスの調整のため、電気事業者からの「出力制御」の要請が引き続き多発したものの前年度に比べ減少し、売上高、営業利益は前年同期をやや上回る水準を確保。

(単位：百万円)

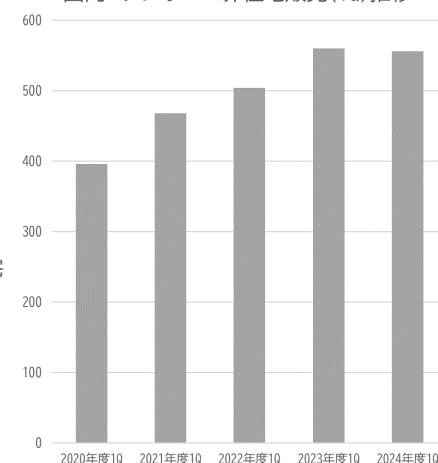
(単位：百万円)

	2023年 6月期	2024年 6月期	前期比 増減
売上高	16,216	15,900	△316
住宅建材 設備事業	15,969	15,645	△323
発電事業	247	254	+7
営業利益	△272	△138	+133
住宅建材 設備事業	△281	△148	+133
発電事業	9	9	+0

<売上高 | 住宅建材設備事業の内訳>

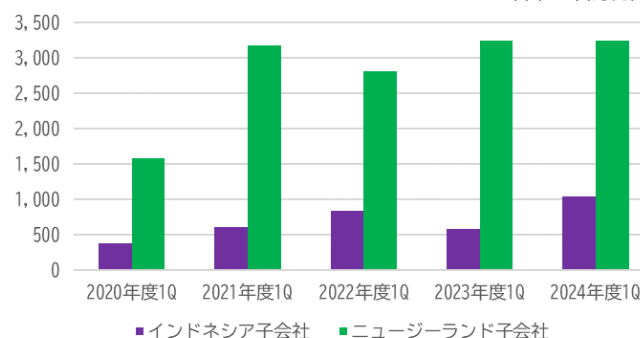


国内 リフォーム非住宅販売(1Q)推移



海外販売(1Q)推移

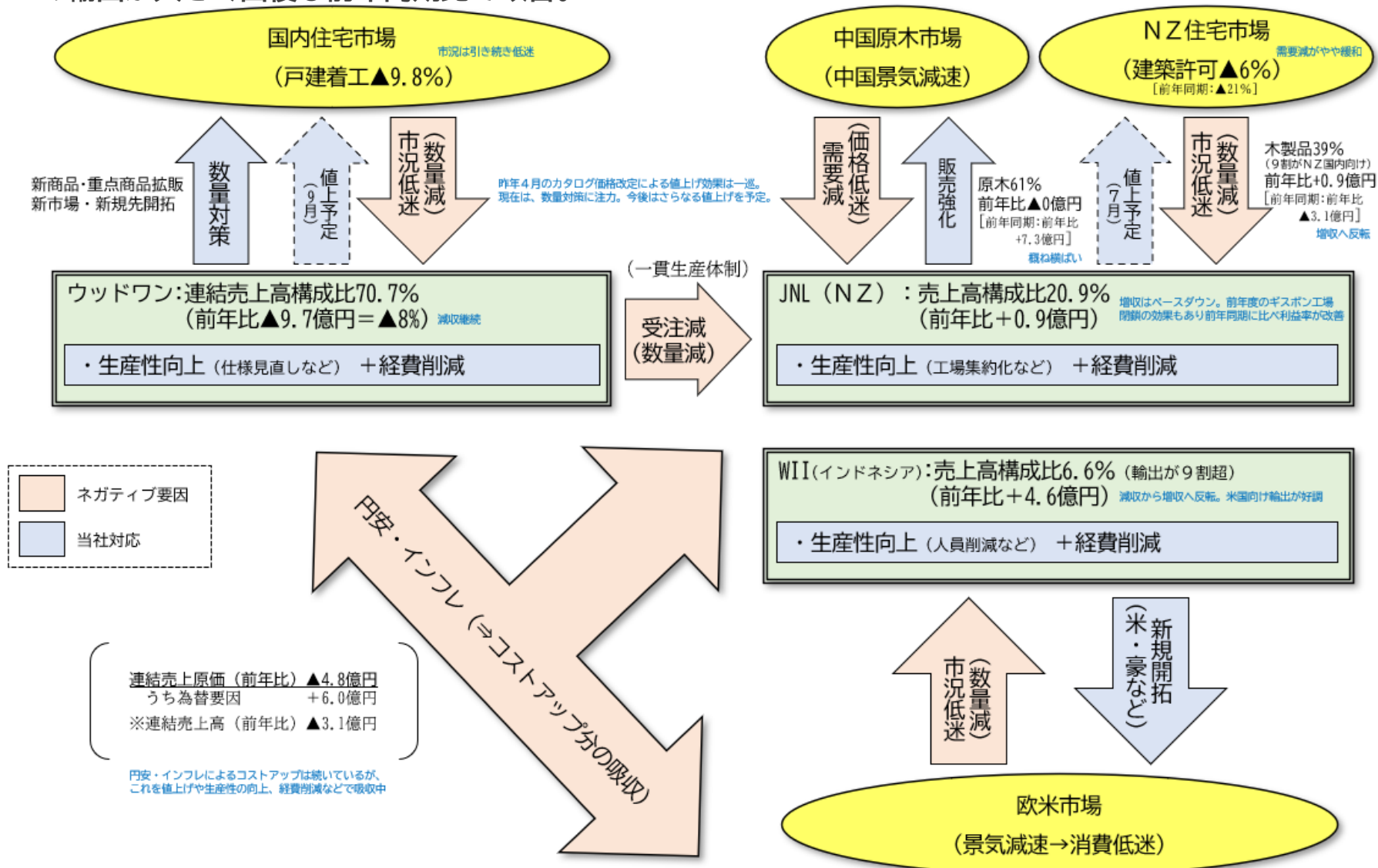
(単位：百万円)



(注) 2024年6月期の住宅建材設備事業の売上高には、発電事業への売上高10百万円が含まれております。

(主要会社の動向)

- 海外子会社を含め、国内外の住宅需要の低下や消費低迷による販売・生産数量の減少、円安やインフレの進行によるコストアップがあったものの、前年度のギスボン工場閉鎖の効果やインドネシア子会社で主に欧米市場への輸出が大きく回復し前年同期比で改善。



4. 連結貸借対照表の状況

- 主にニュージーランド子会社の立木等の増加、国内グループ子会社フォレストワンの庄原新工場への設備投資等の増加により固定資産が増加。
- 主に国内および海外子会社での設備資金や運転資金の調達により有利子負債が増加。 (単位：百万円)

	2024年 3月期	2024年 6月期	増 減	為替影響除き	主な増減要因
流 動 資 産	28,865	28,882	+16	△812	
・ 現預金	5,161	3,684	△1,476	△1,562	← 納税資金・借入金約定弁済など
・ 棚卸資産	14,898	15,397	+498	+230	
・ 受取勘定他	8,804	9,799	+994	+518	
固 定 資 産	72,888	76,835	+3,946	+568	← ニュージーランド子会社の立木投資有価証券評価益等の増加
・ 有形固定資産（立木除く）	37,365	38,972	+1,607	+105	
・ 立木	22,220	24,371	+2,150	+326	
・ 無形固定資産	769	738	△31	△31	
・ 投資その他の資産	12,532	12,752	+219	+167	
資産合計	101,754	105,717	+3,963	△244	
流 動 負 債	32,222	36,068	+3,846	+2,346	長期借入を特約付き当座貸越契約（実質長期）に変更（+6,990）
・ 有利子負債	20,390	25,487	+5,096	+4,148	← 消費税・法人税・設備代金の支払に伴う未払金減少など
・ 支払勘定他	11,831	10,581	△1,249	△1,801	
固 定 負 債	24,814	22,933	△1,880	△2,730	← 長期借入を特約付き当座貸越契約（実質長期）に変更（△6,990）
・ 有利子負債	19,326	16,967	△2,358	△2,910	
・ その他	5,488	5,966	+477	+180	
（＊有利子負債合計）	(39,717)	(42,454)	(+2,737)	(+1,237)	← 設備投資や運転資金の調達
負債合計	57,036	59,002	+1,965	△383	
・ 株主資本合計	33,857	33,832	△24	+97	
・ その他包括利益累計額合計	9,912	11,790	+1,878	△102	
・ 新株予約権	90	92	+2	+2	
・ 非支配株主持分	857	999	+141	+141	
純資産合計	44,717	46,715	+1,997	+139	
負債純資産合計	101,754	105,717	+3,963	△244	

5. 2025年3月期の業績予想・配当予想

- 業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想・配当予想から変更しておりません。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせします。

(単位：百万円)

[業績予想:連結]	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 予想	前期比
売上高	64,779	65,000	221
営業利益	△939	600	1,539
経常利益	△1,286	200	1,486
親会社株主に帰属 する当期純利益	△2,315	400	2,715

(単位：円)

[配当予想]	2024年 3月期	2025年 3月期 予想
中 間	12.00	12.00
期 末	12.00	12.00
年 間	24.00	24.00
配当性向	－	55.9%

予想数値は現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後変動する可能性があります。